

## (9) 農業経営対策について

### 想定課題

国会等移転に伴い経営を縮小せざるを得ない農業者もでてくると思われるが、その対策はどうすべきか。

### 対応方向

国会等の移転については、土地利用制度の一体的かつ適切な運用により、都市と農山村、自然環境との調和のとれた土地利用を推進していかなければならないことが大前提です。

また、那須地域に整備される新都市は、農業地帯に大規模な都市ができるものではなく、黒磯市や大田原市などの既存の集積がある小都市を中心にクラスターが整備されていくものであると考えています。

しかしながら、農地に一切手をふれずに新都市を整備することは不可能であるため、優良農地の確保を基本とし、所有者の意向を踏まえた計画的で効率的な土地利用調整を図ることが重要であると考えます。

また、経営規模を縮小せざるを得ない農業者の方も出てくるものと思われますので、農地の集約化を視野に入れた法人経営体等の組織的対応の推進や、質的・量的に需要が拡大する園芸生産において施設園芸を推進し、それに伴う雇用を地元から確保するなど、就業機会の確保についても、よりきめ細やかに対応する必要があります。

那須地域の経営規模別農家数の推移

